



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月13日
東

上場会社名 カバー株式会社 上場取引所
 コード番号 5253 URL <https://cover-corp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷郷 元昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼経営企画室長 (氏名) 金子 陽亮 (TEL) 03-6280-4036
 定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	43,401	43.9	8,001	44.5	7,962	41.6	5,559	34.4
2024年3月期	30,166	47.5	5,536	62.0	5,623	66.1	4,137	65.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	88.70	83.00	39.6	28.6	18.4
2024年3月期	67.69	61.79	45.6	29.1	18.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	33,060	16,947	51.3	258.14
2024年3月期	22,713	11,143	49.0	182.25

(参考) 自己資本 2025年3月期 16,946百万円 2024年3月期 11,139百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	5,285	△2,696	244	11,498
2024年3月期	4,765	△3,893	△0	8,666

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,750	33.0	2,420	△28.2	2,420	△26.7	1,679	△20.8	25.58
通期	52,500	21.0	8,200	2.5	8,200	3.0	5,700	2.5	86.82

(注) 予想1株当たり当期純利益は、予想当期純利益を2025年3月期末の発行済普通株式数(自己株式除く)で除して算出してあります。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	65,650,100株	2024年3月期	61,124,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期	84株	2024年3月期	83株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	62,680,758株	2024年3月期	61,124,163株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における国内外の経済環境は、エンターテインメント需要の回復が見られた一方で、物価上昇や為替変動などに起因する先行き不透明感が継続しました。

こうした環境下において、当社はミッションとして「つくろう。世界が愛するカルチャーを。」を掲げ、日本発のエンターテインメント・カルチャーを創出し、世界中のユーザーに届けることで、日本が持つアニメやゲームといったユニークな文化に関わるクリエイターの活躍の場を広げることを目指してまいりました。

当事業年度は、所属タレントの多様なメディアでの露出増加に加え、イベント出演のグローバル化、マーチャンダイジング商品の多様化、ライセンス・タイアップ案件のスケール拡大などが進展し、国内外における事業規模は着実に拡大しました。

サービス分野別の業績は、以下のとおりです。

配信／コンテンツ分野においては、所属タレントによる大型配信企画のヒットが継続したほか、2023年以降にデビューした国内外のタレントが着実に人気を獲得し、ファン層の拡大が進みました。また、アニメ主題歌の担当など音楽を軸とした露出が増加し、新たな層へのリーチも広がりました。その結果、同分野の売上高は9,323百万円(前期比21.9%増)となりました。

ライブ／イベント分野においては、英語圏向けVTuberグループ「ホロライブEnglish」による北米地域での2ndライブコンサートや、ホロライブプロダクション初のワールドツアーを実施するなど、海外市場における実績を着実に積み上げました。加えて、国内外の人気タレントによる大型会場でのソロライブも多数成功し、リアルイベントを通じたファンエンゲージメントの強化とコンテンツのモメンタム創出に貢献しました。年度末には、例年開催している「hololive SUPER EXPO」および「hololive fes.」において過去最大の動員数を記録することができました。これらの結果、同分野の売上高は7,793百万円(前期比39.1%増)となりました。

マーチャンダイジング分野においては、2024年9月に販売を開始したトレーディングカードゲーム『hololive OFFICIAL CARD GAME』が想定を大きく上回る販売実績を記録しました。これに加え、小売店販路の拡充やグッズ展開の多様化といった取り組みにより、広範なユーザー層へのリーチに成功しました。その結果、同分野の売上高は20,539百万円(前期比64.6%増)となりました。

ライセンス/タイアップ分野においては、営業体制の強化により、国内外の取引代理店数および案件数が順調に拡大しました。これに伴い、法人取引における認知向上と商機の拡大が進み、ゲーム・玩具・食品・日用品など多岐にわたる業種との取引が進展しました。その結果、同分野の売上高は5,744百万円(前期比29.4%増)となりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は43,401百万円(前期比43.9%増)、営業利益は8,001百万円(前期比44.5%増)、経常利益は7,962百万円(前期比41.6%増)、当期純利益は5,559百万円(前期比34.4%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末より10,346百万円増加し、33,060百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,831百万円、商品の増加2,129百万円、売掛金の増加1,919百万円及びソフトウェア勘定を中心とした無形固定資産の増加1,625百万円によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末より4,542百万円増加し、16,112百万円となりました。これは主に、前受金の増加2,849百万円、買掛金の増加411百万円、未払法人税等の増加373百万円及び諸外国間接税引当金の増加350百万円によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末より5,803百万円増加し、16,947百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5,559百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ2,831百万円増加し、11,498百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により獲得した資金は5,285百万円(前事業年度は4,765百万円の獲得)となりました。これは主に、増加要因として、税引前当期純利益7,448百万円及び前受金の増加による収入2,849百万円があった一方で、減少要因として、棚卸資産の増加額2,129百万円及び売上債権の増加額1,919百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により支出した資金は2,696百万円(前事業年度は3,893百万円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出1,852百万円及び有形固定資産の取得による支出623百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により獲得した資金は244百万円(前事業年度は0百万円の支出)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入244百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

VTuber市場は、比較的新しい市場であるものの、VTuberを起点としたライブ配信、音楽、イベント、マーチャンダイジング、ライセンス/タイアップ、アニメ、ゲームなど、多様なコンテンツビジネスの集合体として確立しつつあります。2025年度の市場規模は1,260億円、前年比120.0%(注1)になると予想されており、今後もグローバルアニメ市場(規模3.3兆円(注2))、グローバルゲーム市場(規模29.5兆円(注3))などを含む広範なグローバルコンテンツ市場(規模123.6兆円(注4))を潜在市場と捉え、持続的な拡大が期待されます。

こうした市場環境を背景に、当社ではこれまで、「VTuberビジネスの確立」「IPビジネスへの進化」「クリエイター経済圏の拡大」の三段階からなる事業戦略を推進してまいりました。これに加え、2026年3月期以降は、①共創によるコンテンツ供給の強化、②グローバル収益基盤の確立、③新規事業領域の収益拡大、④人的資本の高度活用という4つの成長ドライバーに基づき、さらなる事業拡大と企業価値の向上を目指しております。

2026年3月期の業績予想につきましては、売上高52,500百万円(前期比21.0%増)、営業利益8,200百万円(同2.5%増)、経常利益8,200百万円(同3.0%増)、当期純利益5,700百万円(同2.5%増)を見込んでおります。成長を牽引する

主な要因としては、トレーディングカードゲームの海外展開を含むマーチャンダイジング商品の展開強化、国内外の大型タイアップ企業やライセンスとの取引拡大、配信・音楽・ゲームなど各分野でのブランド認知拡大を通じた関連ビジネスの拡大が挙げられます。

一方で、上期においては将来の事業成長を見据えた事業投資に伴う短期的な固定費の増加に加え、売上高が下期に偏重する季節性の影響により、利益水準が前年同期を下回る見通しです。ただし、下期にかけては物流体制の最適化が進むほか、新経営体制のもと、人員再配置や業務プロセスの見直し、販管費の最適化といった構造改革を進め、収益体質の強化を図ることにより、通期では増収増益を見込んでおります。

中期的には、2030年3月期までに売上高1,000億円、営業利益250億円以上の達成を目標に掲げております。この目標に向けては、累計500億円を上限とする戦略的な成長投資またはM&Aの実施を想定しており、海外事業開発、制作・プロデュース機能強化、生産・物流最適化、収益多面化、経営基盤強化などを推進してまいります。

なお、為替・物価・関税動向、消費マインドの変化など、事業環境には引き続き不確実性が存在しております。当社では、こうした外部リスクを注視しながら、柔軟かつ機動的な意思決定とリスク管理体制の強化を図り、持続的な成長を推進してまいります。

以上を踏まえ、2026年3月期は、「成長投資と収益性の両立を意識した運営」と「次期以降の成長加速に向けた基盤整備」を重視する年度と位置付けております。新経営体制のもと、着実な事業進捗と企業価値の持続的向上を目指してまいります。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は各事業開発分野の開発進捗等に応じて予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(注1)株式会社矢野経済研究所『2025年 VTuber市場の徹底研究 ～市場調査編～』

(注2)一般社団法人日本動画協会『アニメ産業レポート2024』

(注3)カドカワアスキー総合研究所『ファミ通ゲーム白書2024』より、2023年の世界ゲームコンテンツ市場規模を参照

(注4)内閣官房『新しい資本主義実現会議(第23回)基礎資料』より、2019年のコンテンツ産業の世界市場規模を参照

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,666	11,498
売掛金	3,498	5,417
商品	1,001	3,131
前払費用	379	627
未収入金	793	1,894
その他	473	327
貸倒引当金	△13	△24
流動資産合計	14,798	22,872
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	2,200	2,330
工具、器具及び備品（純額）	1,645	1,788
建設仮勘定	215	-
有形固定資産合計	4,062	4,119
無形固定資産		
特許権	6	35
商標権	37	75
ソフトウェア	244	3,225
ソフトウェア仮勘定	2,161	739
無形固定資産合計	2,449	4,075
投資その他の資産		
関係会社株式	146	146
出資金	-	54
差入保証金	960	1,123
繰延税金資産	262	634
その他	33	33
投資その他の資産合計	1,402	1,992
固定資産合計	7,914	10,187
資産合計	22,713	33,060

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,283	2,695
未払金	356	69
未払費用	1,121	1,343
未払法人税等	1,184	1,557
前受金	5,115	7,964
預り金	154	116
賞与引当金	312	547
諸外国間接税引当金	-	350
その他	78	482
流動負債合計	10,608	15,128
固定負債		
資産除去債務	961	984
固定負債合計	961	984
負債合計	11,569	16,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	973	1,096
資本剰余金		
資本準備金	970	1,093
資本剰余金合計	970	1,093
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	9,196	14,756
利益剰余金合計	9,196	14,756
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,139	16,946
新株予約権	3	0
純資産合計	11,143	16,947
負債純資産合計	22,713	33,060

(2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	30,166	43,401
売上原価	16,177	21,596
売上総利益	13,988	21,805
販売費及び一般管理費	8,451	13,803
営業利益	5,536	8,001
営業外収益		
受取利息	0	4
受取和解金	-	66
為替差益	108	-
その他	8	4
営業外収益合計	116	75
営業外費用		
支払和解金	25	69
為替差損	-	43
寄付金	5	-
その他	0	1
営業外費用合計	30	114
経常利益	5,623	7,962
特別利益		
受取損害賠償金	160	-
特別利益合計	160	-
特別損失		
固定資産除却損	-	153
減損損失	-	11
移転損失	60	-
諸外国間接税引当金繰入額	-	350
特別損失合計	60	514
税引前当期純利益	5,722	7,448
法人税、住民税及び事業税	1,575	2,261
法人税等調整額	9	△372
法人税等合計	1,584	1,888
当期純利益	4,137	5,559

(3)株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	973	970	970	5,059	5,059	-	7,002
当期変動額							
当期純利益				4,137	4,137		4,137
自己株式の取得						△0	△0
当期変動額合計	-	-	-	4,137	4,137	△0	4,137
当期末残高	973	970	970	9,196	9,196	△0	11,139

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	3	7,006
当期変動額		
当期純利益		4,137
自己株式の取得		△0
当期変動額合計	-	4,137
当期末残高	3	11,143

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	973	970	970	9,196	9,196	△0	11,139
当期変動額							
新株の発行	123	123	123				247
当期純利益				5,559	5,559		5,559
自己株式の取得						△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	123	123	123	5,559	5,559	△0	5,806
当期末残高	1,096	1,093	1,093	14,756	14,756	△0	16,946

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	3	11,143
当期変動額		
新株の発行		247
当期純利益		5,559
自己株式の取得		△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△2	△2
当期変動額合計	△2	5,803
当期末残高	0	16,947

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	5,722	7,448
減価償却費	476	958
減損損失	-	11
諸外国間接税引当金繰入額	-	350
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	102	235
受取利息	△0	△4
受取損害賠償金	△160	-
固定資産除却損	-	153
売上債権の増減額(△は増加)	△282	△1,919
棚卸資産の増減額(△は増加)	△662	△2,129
未収入金の増減額(△は増加)	△723	△1,098
仕入債務の増減額(△は減少)	199	411
未払費用の増減額(△は減少)	△23	48
前受金の増減額(△は減少)	1,017	2,849
その他	175	△122
小計	5,842	7,201
利息の受取額	0	4
損害賠償金の受取額	160	-
法人税等の支払額	△1,237	△1,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,765	5,285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,429	△623
無形固定資産の取得による支出	△1,267	△1,852
資産除去債務の履行による支出	△69	-
関係会社株式の取得による支出	△146	-
出資金の払込による支出	-	△55
差入保証金の差入による支出	△3	△165
差入保証金の回収による収入	43	-
その他	△21	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,893	△2,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	244
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	244
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	873	2,831
現金及び現金同等物の期首残高	7,793	8,666
現金及び現金同等物の期末残高	8,666	11,498

(5)財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、VTuber事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	182.25円	258.14円
1株当たり当期純利益	67.69円	88.70円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	61.79円	83.00円

(注)1株あたり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
(1)1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益(百万円)	4,137	5,559
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(百万円)	4,137	5,559
普通株式の期中平均株式数(株)	61,124,163	62,680,758
(2)潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額	-	-
普通株式増加数(株)	5,836,254	4,299,370
(うち新株予約権(株))	(5,836,254)	(4,299,370)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。